

虫には虫の生き方があるんだね

4・5歳児～小学校低学年

ねらい 身近な生き物とのかかわりを通して、命の尊さに気づき、大切に育てる気持ちをもつ。

気づく

みんなは虫さんのおとうさん、おかあさんだね

身近な自然の中にいる虫やおたまじゃくしを、園や家の近くで見つけ、ケースに入れて飼育をする。
絵本を見たり図鑑を見たりする中で、生き物の生態について知る。

留意点

- ・ 図鑑や絵本を絵本コーナーに置き、虫たちが何を食べて生きているのかなど虫に関心を持たせる。
- ・ 虫などの生き物の成長が、「みんなも大切に育ててもらったね。」など自分の成長への関心につながるようにする。

ワンダーランド
2008年
5月号「おっばい」(世界文化社)など



広げる・深める

てがでてきたよ。しっぽがなくなってる！

見つけてきた生き物も命あるものとして大切に世話をする。
生き物の動きや成長など、発見したことや不思議に思ったことを伝え合う。

留意点

- ・ 図鑑などに載っている生態や成長の様子を、拡大コピーして子どもたちの見やすい位置に置き、わかりやすく提示する。



計画する

虫には虫の生き方があるんだね

絵を描いたり表現遊びを楽しんだりしながら、生き物をより身近に感じる。

留意点

- ・虫の中にも他の虫を食べて生きているものがあるように、自分も大切な命をもらって生きていることを知らせる。

絵本「食べる」
(学研)など

「ぼくもお魚や
お肉食べてるよ」

実践する

わたしたちと同じように生きているんだね

夏休みを前に飼育していた生き物をどうするかみんなで話し合う。生き物にとって、どうすることが一番よいのかを考える。

虫の生き方について話し合い、私たちと同じように「生きている」ことを知る。

留意点

- ・生き物にはそれぞれ住む場所があり、生き方もちがうことを話し合いの中から気づかせる。
- ・園での飼育の様子をクラス便りで伝え、生き物に親しんだり、大切にしたりすることを夏休みの家庭生活でも実践させる。

絵本「みずく
さむらとみず
べむら」(福音
館書店)など

「捕まえたところに
逃がしてあげよう」

振り返る

これからもたくさん生き物となかよくしよう

動植物について詳しい地域の人話を聞き、不思議に思っていることやわからないことを教えてもらい、交流を深める。

生き物の飼育を通して「命」を感じられる経験につなげ、地域の自然を大切にする気持ちを持つ。

留意点

- ・地域の自然をよく知ることで、自然を大切にする気持ちを育てる。



「湖の魚は何を食べて
生きているのかな」

「大きな魚は小さな魚から命
をもらって生きているよ」